

令和5年12月25日

保護者 様

三木市立吉川小学校
校長 長谷川 珠里

吉川小学校をより良くしていくために（10）

師走の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力をいただき深く感謝いたします。

吉川町内の4小学校が統合して、2年目を迎えました。令和3年度は「吉川小学校開校を迎えて」、令和4年度は「吉川小学校 新たなスタートを迎えて」という文書にて、学校の様子や保護者にお伝えしたい事等を記載してお配りしてきました。

今年度は毎週末の文書でのお知らせとはなりません。必要に応じて「吉川小学校をより良くしていくために」をお渡ししたいと思います。これは昨年度のPTA本部役員が中心となって「吉川小学校をより良くするためのアイデア」を募集し、実現できることから取組を進めて頂いた流れを大切にしていきたいと思ったからです。保護者のネットワークを構築して頂きながら本校の学校づくりに参画いただけると幸いです。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。卒業式の服装等、必要に応じてご利用ください。

☆学校HP（ホームページ）アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

☆検索窓に「吉川小学校」を入力して検索ください。



学校教育目標

心豊かに たくましく 学びを深めあえる子の育成

～ ふるさとを愛し 夢を育む 学校づくり ～

1 2学期の終業式を終えました

本日、2学期の終業式を終えました。終業式では各学年の代表が2学期に頑張ったことやこれからの抱負等を発表しました。



【児童代表のことは】

○ 僕が2学期がんばったことは二つあります。一つ目は運動会とマラソン大会に向けた練習です。運動会では徒競走で負けないように学校でたくさん練習しました。マラソン大会では業間マラソンの時間で自分のペースで練習に励みました。どちらの結果も目標より少し及ばなかったのが悔しかったです。練習した事で、自信を持って迎える事ができました。

二つ目は国語の学習で作ったリーフレットを3年生に発表した事です。僕は石川県の伝統工芸である金沢箔について調べました。調べて3年生発表する時には、声の大きさやスピードに気をつけながら発表しました。3学期も人に何かを伝える時には、2学期の学習を活かして頑張りたいです。（4年生）

2 ぜんざいのふるまい等

2学期の終業式後に吉川町商工会の方々にぜんざいのふるまいをしていただきました。小豆を煮る事はもちろんの事、おもちもすべて手作りです。温かくて美味しいぜんざいを食べて心も体もあたたまりました。ありがとうございました。



長を渡しなが、2学期のまとめをしていますので、ご家庭でもゆっくりお話をしていただきたいと思います。

3 マラソン大会を終えて

12月8日（金）にマラソン大会を終えました。雲一つない晴天に恵まれ、自分の目標に向かって精一杯頑張る子ども達の姿が多く見られました。



【6年生の感想】

- 「最後まであきらめずに走り切る」を目標にしていたが、目標を達成できたし、最後だから一生懸命に走り切れて本当にうれしかった。ゴールした時、終わってうれしい気もちもあったけど、終わりなんだなあという気持ちもありました。
- 目標に向かって全力で走れた。そして、思っていた以上の順位に入れたので最後のマラソン大会は最高なマラソン大会でした。

4 3学期当初の時程変更について

3学期当初は学校生活のリズム作り等のため、5校時一斉下校（10日から12日）とします。先日お配りしました11月30日付の学校通信ではその記載をしておりませんでしたので、変更後の学校通信はホームページにアップしていますので必要に応じてご確認ください。

なお、別途「すぐーる」にて三木市教育委員会からお知らせがあったとおり、国の方針（「文部科学大臣メッセージ ～子供たちのための学校の働き方改革できることを直ちに、一緒に～」）を受け三木市でも、標準授業時数を大幅に上回る場合は、令和6年度を待つことなく本年度中に教育課程等を見直すこととなっています。

本校では現在のところ学級閉鎖をする基準に達していないため、通常通り学校生活を継続していますが、3学期末も同様に5校時の一斉下校期間を設ける場合があります。その場合は別途、お伝えします。



5 健やかな子ども達の成長を願って

学校生活を送りながら、学力だけではなく人間力や社会性を身に付けてくれる事を願っていますが、時として児童同士が仲たがいしたり、けんかになったり、持ち物が無くなったりする事があります。その都度、聞き取りをしたり、全体指導をしたり、保護者へお伝えしたりしていますが、問題行動が全くないという状況にはありません。

先日の親子人権参観日の日に、4年生は学級懇談会を開催しました。

主な内容は、

(1) 担任から保護者へお伝えしたい事及びお願いしたい事

本年度の本学級における問題行動及びその対応について、具体的な日付等や対応等の詳細にお伝えしました。

(2) 保護者から

ご質問は特に無く、ご意見を伺いました。



次の日に連絡帳で思いを伝えていただいた保護者（通信等で紹介する旨ご了承いただいています）のご意見を紹介します。

昨日は懇談会&オープンスクールありがとうございました。クラスの問題がある中、自分の子どもの事（しょうもない事）について何度も時間を作っていただき有難くも、大変申し訳なく思っています。

クラスの問題については学級通信で読んだだけだと、まさかこんなに何度もあったとは思っておらず、とても驚きました。重いテーマですし、学校側は隠すイメージがある中で、今回のように皆で共有する機会を設けて下さり良かったなあと思っています。

知らなかった家庭が多かったと思います。何も知らなかった私は良かったと思いますが、当事者の特にしてしまった側の親御さんにとっては辛い時間だったろうなと感じています。しかし、された側の親だったら周知して欲しいと思いますし・・・。

どこからがいじめなのか、我が家はこれぐらいの事でと思うようなことでも他のご家庭ではまた違うでしょうし・・・難しいですね。何も知らなければ知らないままで何も考えずに過ぎていたと思いますので、子ども達とは話すいい機会になったと思います。答えは出ませんが一緒に考える事に意味があると思います。色々大変かと思いますが、先生頑張ってください。子どもにも先生に迷惑をかけないように改めて言っておきます。

多くの保護者に参加いただけた事、共に子ども達の健やかな成長を育んでいく大切さをご理解いただけ事等、大変有難く思います。まだまだ未熟な子ども達は、どの子も被害者にも加害者にもなり得ると思います。重大な事案になる前に（小さな芽のうちに）、対応していくためには学校だけではなく、保護者のお力が欠かせません。

最後に、子どもは失敗や過ちを繰り返しながら、人として成長していく側面もある事を肝に銘じながら、子ども達をご一緒に育んでいきたいと思えます。引き続き、よろしくお願ひします。